

木花地域まちづくり活動方針

『笑顔で参加、築こう安心・安全、自然豊かな住みよい木花の里』

この活動方針は平成21年3月24日、
平成20年度第8回木花地域自治区地域協議会において制定されました。

《 木花地域まちづくり推進プラン 》

きばなのきずな

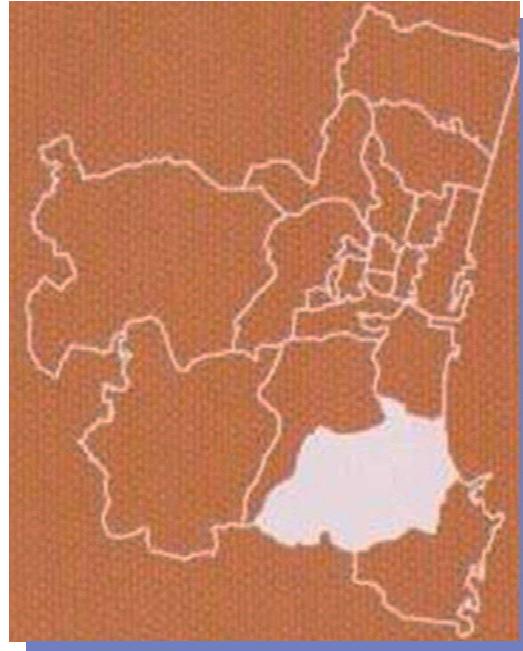
～木花がめざす7つのテーマ～
～木花がめざす7つのテーマ～



斟鉢山から木花地域を撮影

平成26年3月
木花地域自治区木花地域協議会

木花地域自治区の紹介



面 積・・・ 65.52km² (宮崎市全体 644.61km² 対市比 10.2%)

人 口・・・ 住民基本台帳人口：11,931人（男：5,909人 女：6,022人）
国勢調査に基づく推計人口：13,755人

世帯数・・・ 住民基本台帳世帯数：5,676世帯
国勢調査に基づく推計世帯数：6,889世帯

自治会数・・・ 27自治会（総加入世帯数：3,010世帯/加入率：44.49%）

公共施設等・・・ 教育・幼稚園：木花幼稚園
・小学校：木花小学校 / 鏡洲小学校 / 学園木花台小学校
・中学校：木花中学校
・大学：宮崎大学
・公立公民館：木花公民館（自治公民館：16館）

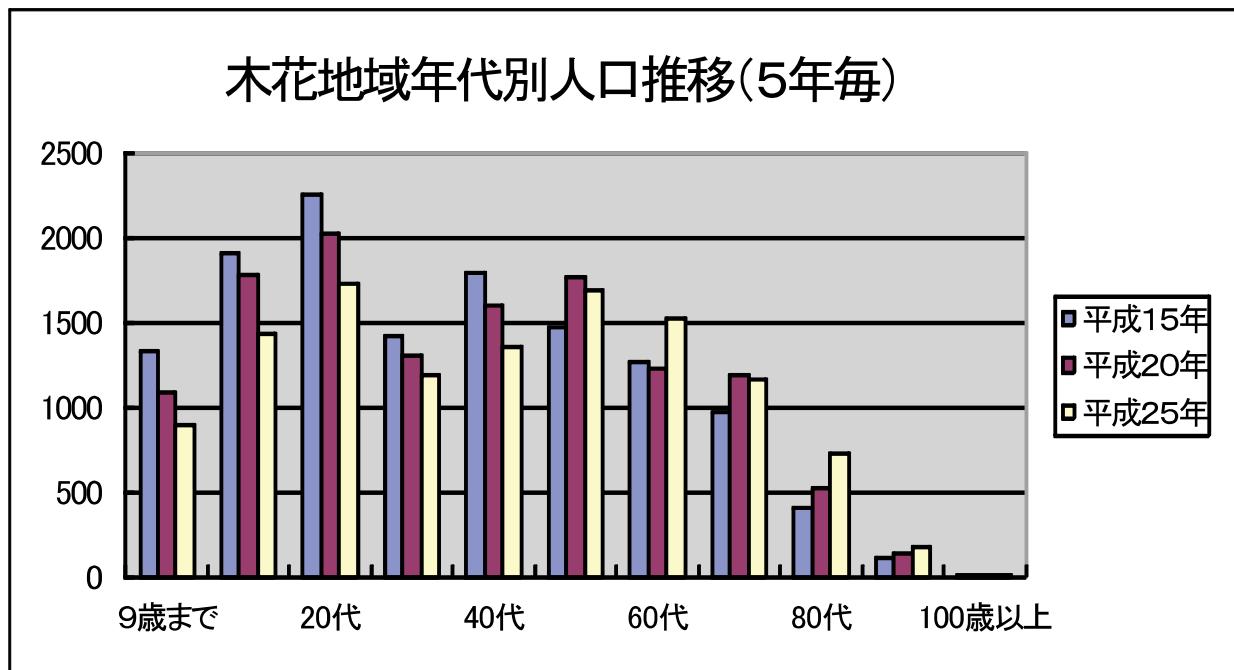
福祉・保育園：木花保育園 / 加江田保育園 / 鏡洲保育園
・児童館：木花児童センター
・その他：木花・青島地区包括支援センター

その他・宮崎県総合運動公園
・京都大学防災研究所付属地震予知研究センター宮崎観測所

産業大分類・・・ 第1次産業 531人
別従業員数 第2次産業 767人
第3次産業 4,278人

※ 人口と世帯数は平成26年3月1日現在、自治会加入世帯数は平成26年4月25日現在、
産業大分類別従業員数は平成25年6月1日現在のデータです。

木花地域自治区の人口推移表



平成25年4月1日現在の宮崎市住民基本台帳より

(人)

	総数	0~	5~	10~	15~	20~	25~	30~	35~	40~	45~	50~
H15	12,903	594	728	895	1011	1515	737	657	758	910	882	833
H20	12,607	469	612	698	1084	1417	605	651	645	752	841	891
H25	11,861	394	503	604	827	1187	534	536	644	658	695	804
		55~	60~	65~	70~	75~	80~	85~	90~	95~	100~	105~
		638	592	668	585	383	246	160	80	29	2	
		866	621	598	660	532	327	195	103	35	5	
		885	873	646	566	592	475	250	130	49	8	1

テーマ1 笑顔と優しさあふれるまち

★ 子供を安心して育てられるまち

若い世代が住み、子育てがしやすい環境は女性や高齢者にとっても優しいまちです。隣近所が仲良くし、地域みんなで子育てを助け合う人情味溢れる木花を目指します。

★ 三世代にわたって住めるまち

どの世代もそれぞれ思いやることのできる地域づくりをし、家族を大切にする木花を目指します。

★ 交通利便を考えるまち

木花地域では一部の路線バスが廃止になり、交通弱者を救済する目的で、平成19年12月より木花巡回バス「このはなバス」を運行しています。これまで運賃改定、路線や時間の見直しなどを重ね利用者の増加を図ってきました。今後も地域の人々が利用しやすい運行になるように交通利便を考えていく木花を目指します。



木花巡回バス



木花地域まちづくり推進委員会
福祉部会の事業の様子



民生児童委員見守り活動の様子

安心

テーマ2 安全・安心を築くまち

★ 子供がのびのび暮らすまち

子供を守る「青パト」・見守り朝夕の「あいさつ声かけ」など、地域全体でコミュニケーションを取りあって子供が健康に育っていく木花を目指します。

★ 防災意識の高いまち

防災の地域連携を乗り越えて、住民、学校、福祉施設、企業も含めた全員参加で防災について考えていく木花を目指します。

★ 交通マナーのよいまち

歩行者も、自転車に乗る人も、車を運転する人も、お互いに配慮しあって事故や違反のない安全な木花を目指します。



木花ふれあい防犯パトロール隊



外所地震の供養碑



宮崎南交通安全協会木花支部の活動

テーマ3 自然環境を守るまち

★ 四季折々の自然を楽しむまち

雄大な太平洋に面し、山々は常に緑をたたえ、3つの川は水辺の生き物の宝庫です。この自然の宝ものを大切に、そしてより輝かせていく木花を目指します。

★ 環境美化をすすめるまち

ゴミのないまちは、皆がルールを守っている証です。防犯、防災、減災にもつながる環境美化に取り組む木花を目指します。



木花公園の遊歩道



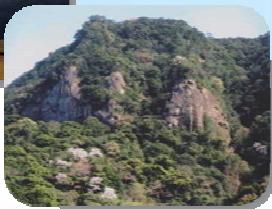
好隣梅まつりの様子



老人クラブと子ども会による花の植栽事業



斟鉢山と
双石山



木花地域まちづくり推進委員会
環境農商部会による木花駅周辺の清掃

テーマ4 歴史を守り文化を育むまち

★ 地域の伝統文化を守り育てるまち

木の花さくや姫など、木花に伝わる神話や伝説、寓話を子供たちへ伝えることは、郷土に誇りを持つことや、郷土愛を育むことに繋がります。地域、学校が連携して伝統文化の担い手を育てることで郷土の歴史や文化を支えていく木花を目指します。

★ 木花の宝を発信するまち

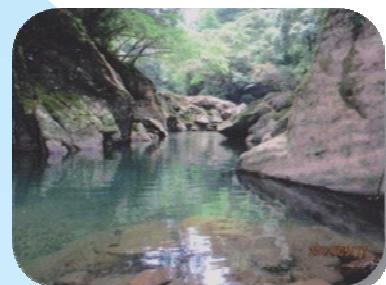
木花には地域内外の人にまだ知られていない宝があります。それらの情報を様々な媒体で発信することは、宝の保全にも有効です。木花の宝を多くの人に知ってもらう活動に取り組み、発信力のある木花を目指します。



木花相撲踊り



伊勢神楽



加江田渓谷



「無戸室」と桜川伝説



亥の子もち

テーマ5 生涯にわたって学ぶまち

★ 教育機関と連携するまち

教育機関や公民館との連携を図ることで、誰もが、いつからでも学べる環境を整えます。また宮崎大学に通う留学生も数多く住むことから、様々な世代、国籍の人々が交流し、学び合う木花を目指します。

★ スポーツに親しむまち

県総合運動公園や海、山、川を有することから、各種スポーツの環境はどの地域よりも群を抜いて整っています。スポーツに親しみ、健康、体力づくりをしていく元気な木花を目指します。

★ 公民館活動が活発なまち

自治公民館活動の活性化により、学ぶ機会を増やし、さらに発表する場をつくることで学ぶ喜びが増していくように取り組みます。生涯にわたって学習することを推進する木花を目指します。



木花内水面漁業協同組合と
鏡洲小学校児童によるヤマメの放流事業



木花地区文化祭の様子



国内有数のサーフィンのメッカ
木崎浜



青パゴでパークゴルフを楽しみながら健康づくり



木花地区体育祭

テーマ6 人が育ちつながるまち

★ 人材（財）が活きるまち

得意分野を生かす、空いた時間を生かす、興味のある分野に取り組んでみる、など地域活動のスタイルは様々でO.K.です。それぞれの人材（財）がいきいきと活動する木花を目指します。

★ 女性力を活かし輝くまち

女性がさらにいきいきと活動し、より輝いていく木花を目指します。

★ 後継者へつながっていくまち

各種団体、家庭において後継者の育成は最も重要です。次世代へのバトンタッチがスムーズな木花を目指します。

★ 地域の催しを応援するまち

「木花地区体育祭」や「木の花夏の夜祭り」などの催しを地域全体で応援することは、人材を育成することにもつながります。子供から高齢者まで誰もが楽しめる地域の催しを応援していく木花を目指します。

★ 情報を共有するまち

木花地区自治会連合会、木花地域まちづくり推進委員会、その他各種地縁団体が情報共有し協力することで、つながっていく木花を目指します。



地域の達人が得意分野を児童に指導している様子



ボランティア女性による梅干し漬けの講習会



第2回「木の花夏の夜祭」の様子

テーマ1 地域資源を活かすまち

★ 駅を活用するまち

木花駅駅舎の保全活動と合わせ、駅前広場を木花の農業や産業、文化の発信地にすることで、潤いを創出していく木花を目指します。

★ 若い営農家が増えるまち

日本の食を支えることに誇りを持ち、木花発の安全な農産物を供給する若い営農家が増え、6次産業化についても取り組める木花を目指します。

★ 「このはなバス」の走るまち

保育園児の絵や公民館活動での作品を展示する「動くギャラリー」として、地域めぐりや木花の宝探しツアーの「足」としてなど、「このはなバス」を活用したまちづくりができる木花を目指します。



「木花いちご」収穫の様子



「ミニトマト」栽培作業中の様子



木花駅と駅前ロータリー



「このはなバス」を活用した事業と
車内ギャラリー



「キュウリ」収穫の様子

木花の宝物

« 平成24年10月実施アンケートの結果 »

・ご意見、特徴、概略の説明

●青島休養村と好勝梅 展望台からの風景がすばらしい。好勝梅まつり(2月)
●椿山と椿山キャンプ場 世界有数の椿の種類や本数が多くすばらしい。椿まつり(2月)、キャンプ場開(7月)
●木崎浜 サーフィンに来る人の7割が県外の人で、木花に移り住んだ人が多く、中には早朝浜を清掃している人がいる。亀の産卵も見られるので、浜をきれいにする活動が続けられている。コアジサシの産卵が見られる海岸である。
●加江田渓谷、加江田川、双石山、鈎鉢山 昭和45年、双石山から加江田渓谷一帯(面積1448.43ha)は、自然休養林に指定され、四季を通じて訪れる人は後をたたない。長い遊歩道や林道が整備されているので、宿泊場、健康、料理等を結びつけて観光資源にならないか。・自然に恵まれたウォーキングコースがある。・地域内に多くのハイキングコース等をつくらうだろか・宮崎市を一望でき山と自然豊な加江田渓谷がすばらしい。・双石山は、珍しい大岩があり、眼下を見下ろす風景も絶景である。・キバナノホトギスが咲いている。・加江田渓谷と木崎浜までつなぐサイクリングロードはできないか。・自然の螢の輝きがすばらしい。・鈎鉢山は、小中学校の校歌にも歌われ、木花のシンボルである。
●青年松 運動公園の東側は、現在のような松林ではなく、砂浜であった。明治27年ごろから消防団の人たちが、津波等の災害から地域を守るために、山々から、松や竹等を掘り起こし、何年もかかって植林を続けて現在のような松林となった。塩害防止のために150年~200年前の青年が植樹したもの、先人の思いを伝えてほしい。
●加江田国有林内にあるイロハもみじ イロハもみじは、加江田が南限ではないかと聞く。保存し、広報してゆくべきだ。
●リュウビンタイ、ヘゴの保存 この植物は、本州南岸以南に自生し、二属種が確認されている。木花には多くの自生地があるので観光等に利用できないか。
●鈎八神社(くんぱち) 見猿、言わ猿、聞か猿のご神体が祭られ、豊年満作の神として親しまれている。祭り(12月)
●加江田神社 宮崎のお伊勢様といわれている。外所地震による津波の記念碑がある。春大祭にて神楽奉納(3月)。加江田神社夏まつり(7月)
●熊野神社 熊野神社まつり(7月)
●木の花夏の夜祭(8月) 有志の方の努力で盛大に開催された。今後とも文化発表の場、地域住民の触れ合いの場として続けてほしい。
●宮崎県総合運動公園 健康維持のための利用を
●青島パークゴルフ場 4コース、36ホールのパークゴルフ場で、日本パークゴルフ協会公認コースである。コースは、フラットでやさしいホールから、変化や起伏に富んだホールまでさまざまである。
●木花公園
●潛水橋 清武川にかかる宮ヶ田瀬の北にある橋で、増水時には橋の上を水が流れ、橋が潜水する橋がある。
●木花神社 古事記に関連も深い由緒ある神社だから伝えてほしい。地域の文化として学校教育にも取り上げ、地域に愛着を持つ子どもを育ててほしい。「無戸室」の跡と「桜川」の伝説がすばらしい。
●円南寺と伊藤満所の像 伊東満所とのかかわりを残していくためにも保存が必要である。
●阿弥陀如来様 鎌倉時代以前と伝えられる曾山寺のご本尊で、現在も曾山寺上下の人たちが手厚く祀っている。

●いかの汁かけ飯
氏神様祭りで振舞う飯で、主婦の腕前を示す料理で、千本菜や人参葉に油揚げを切り込み、いかと一緒に煮た汁を、深皿の白飯の上にたっぷりかけたもの。
●相撲踊り
江戸末期頃から伝わったといわれ、木花小学校の運動会で踊られている。
●正蓮寺平野と干拓
外所大地震によって沈んだ田んぼに堤防等を造ることにより干拓し、水田にしていった。何人も関わった人がいる。江戸時代に人力で干拓したものである。先人の苦労を伝えてほしい。
●寛文の外所大地震の供養碑
1662年9月19日24時に起きた大地震で、多くの人が亡くなるとともに、外所という字地等が海面に沈んだ。災難を忘れないように、50年ごとに供養塔を建立している。先人が受けた災害を後世に伝えてほしい。
●和泉守国定(井上真改)
西教寺の住職の子として生まれ、20歳ごろ上洛し、25歳ごろ大阪に出府して、この地で高名な刀工となった。飫肥藩に召抱えられた。
●島山地区の葛岡タケの親孝行
タケの母親は、タケの産後肥立ちが悪く、まもなく病死した。父久吉も体が弱く病気がちであったことから、幼い頃から、父親をよく看病し、宮崎県から親孝行の娘として表彰を受ける。島山の葛岡家には、賞状が今も保存されている。
●木花に伝わる民話
子どもたちに伝えてほしい。
●郷土の孝女比佐野
●秋葉神社(熊野字木崎)
木崎地区は、明治12年12月25日に大火に見舞われ、約300軒が消失した。そこで秋葉神社(静岡県)に参り、「御分靈」を受け、この地に神社を建てたものである。
●天満宮
アメノミナカヌシノミコトで古事記の最初に登場する神を祭っている。
●前方後円墳:2基
清武川と清武街道に挟まれた大地の畳の中に、2基の古墳が並んでいる。
●車坂城、今江城(仮称)
昔城があつたと聞くとロマンがある。案内板や掲示板の設置を設置してほしい。
●木の花佐久夜毘賣伝説
銅像を作つては。お菓子を作つてはどうだろうか。
●宮崎大学及び学園木花台をつくる前に発掘された遺物
発掘された遺物は、宮崎県文化財課が保存してあると聞く、活用できないか。
●木花ヶ丘阿弥陀堂の阿弥陀如来立像
鎌倉時代中期以降の作品で、宮崎市指定の有形文化財となっている。
●木花振興会、鏡洲振興会
●巡回バスの運行
巡回バスは、今後高齢化が進む中、交通弱者にとって必要となってくるので、残してゆくべきだ。交通弱者の手助けになっている。
●亥の子もち
●宮崎大学
太陽光発電など